

AALA ニュース 第 153 号

内容紹介

01 志位和夫「ウクライナ侵略をどう終わらせるか」

ロシアによるウクライナ侵攻 2 周年の 2 月 24 日、長野での集会での演説。ロシア軍の侵略を認めることになる即時停戦はいえないとして、「国連憲章守れ」での全世界の団結を訴えた。

02 J/サックス「ウクライナの安全は交渉の場でしか実現しない」

バイデン政権のウクライナ軍事支援は戦争を長引かせ、国民を苦しめるだけだと、世界的に著名な経済学者が、ウクライナを戦争に導いたアメリカ外交の失敗をすどく告発している。

03 即時停戦を求める世界の声

NATO 軍派遣も検討しているとの報道に、平和団体がノーの声明。ウクライナ国民も 72% がロシアとの交渉を支持との最新世論長が発表。追加援助で戦争継続を煽る動きに批判が広がる。

04 「沖縄新基地建設に反対する世界の学者文化人の声明」

沖縄新基地建設の「代執行」を認めた判決と政府による工事着手に、世界の学者、文化人、ジャーナリスト 400 人以上が抗議の声明。事態を静観することは植民地的無関心に陥ることだと訴え。

05 鈴木頌「米中関係と中国外交の変化」

トランプとバイデンの 7 年間の両国関係を整理。そこから中国が外交スタンスを微妙に変化させた。中国に多くの懸念や心配を抱きつつもグローバル・サウスがなぜ接近しているかがみてとれる。

06 その他の記事は「鈴木頌 AALA ニュース編集日記」で参照できます ([aala_news の編集日記 \(livedoor.jp\)](#))